

親しく拜見仕候處堂々たる意見あり痛烈なる皮肉あり滑稽なる哲學あり興味津々誠に有益なる好著と愉快に拜讀仕候

永井一雄君

金田谷松君

過般は御近刊「現代」に面して「御惠與」に預り難有拜受仕候常に雜務に忙殺せられ未だ精讀を了せざるも言々句々最も時代に適應して憂國の至情溢るゝが如く經世家の侶伴として缺くべからざるものと感嘆仕候。

内藤直助君

前に處世に關する著あり今又此著有り以て世運の趣く所を指

摘して世人の注意を促がす眞に先覺の士と稱すべし讀み來り同感の點多々慷慨に堪へざるあり奮勵腕を撫するあり將又靜座内に省るありて愛讀致し居候

内田桑太郎君

貴著「現代」に面して「一部御心懸けさせられ御惠投被下御厚意の段奉感謝候早速拜見致し候處寡聞の老生は常識修養に資する處極めて多大に有之候

岡部榮信君

「現代」に面して「御惠與」に預り誠に忝なく奉存候早速拜讀御卓見敬服仕候郷黨指導の好資料と存候

御高著「現代に面して」一部相届き一讀感殊に深く寸鐵人を刺すの趣有る様に存せられ眞に近來の快著と相感じ申候

青柳新米君

飯塚志賀君

御著述に係る「現代に面して」御惠與被下難有拜受披見仕候處何れも現代に於ける緊要事のみを御着眼被遊候儀誠に感服仕候御教示に隨ひ之より實行候事に仕り御苦心に報じ致度と存候

林 民五郎君

貴著「現代に面して」の一本御惠贈被下拜讀の榮を担ひたるは感謝の至りに不堪候洵に現下の社會國民に對する喫緊的至言と奉

存候尙ほ貴下蘊蓄の氣氣は將來益々國家の針鈴たらんことを庶幾す

反町房太郎君

扱て此度は内容抱負ある珍書御惠與被下難有拜讀可仕候

時田仲八君

賢君の今回の御著書「現代に面して」壹冊御贈呈蒙り茲に有難受納早急繕讀仕候處實に感銘肝に徹し候

是れ實に現代に於ける言行録とも申すべく現代の特質なる社會關係の重要味ある國民生活處世の道を御指示せられしは感佩の至りに御座候

今日の社會問題改造問題勞働問題の實際に處する御教訓となるべきかと存候畢竟今日の選舉道德富豪者道德勞働者道德國際道德社會道德等積極的に從來の五倫五常の外に社會關係の道德を自然其間に處し現代の道を教へる様に説明的に全議に渡り尙現代使用せらるゝ新語を賦しあるも相見へ候自由とか公平とか責任とか協同とか平等とか奉公とか正義とか博愛とか社會生活者として自覺したる要諦に相成るかと存候

換言すれば社會關係に處するの道則人格的自覺に相成候御著書第六に

科學分離の無効表題の御説明

是譬喩論に於ける御考案簡にして明に感じ候此説不即現的社會組織進運轉換するを背負ふて開鑿新線路を跣足歩行するを感じ候

御著書第三十八に

爾今吏員養成學校設立必要は説明せずして同意見小生は口癖の如く唱へ居候茲に双手を擧て御賛成を表し候

御著書第四十六に

(デモクラシー)御説の如く希臘國發明專賣語たることは何人も異論するの疑ひ之れなし偕て此の(デモクラシー)は主權の存在民衆に歸すると釋明するが故に我が日本では我國體を危くする虞れ

あると終に是の(デモクラシー)は社會主義無政府主義と思案する爲めに大に嫌ひ申され候次第かと存候
御著書第八十に

民族衰亡の危機

過激主義無政府主義共產主義各外來思想の過渡期則新舊思想交換期是の混沌たる外來思想最も克く日本思想に善化訓練の爲め著書せられ茲に具眼者喚起せらるゝは偉大なることに存候

蟻川七良次君

御著書現代に面して「御配送被下難有頂戴仕候何れ寛る〜」拜見修養に資し可申候

反町延太郎君
貴著現代に面して「御惠送被下難有拜誦候處各項我意を得たる段欣快此事に候殊に民族衰亡の危機に至りては大いに然り

五十嵐豊太郎君

著作未だ充分熟讀せざるも貴下説明の通り政事は正事なり公にして公明正大なるものなり之を不偏不黨以て一國の政務に庶し我國家の進運を計るべきことは既に貴下も御承知の通り故に其の正事を悪用して政黨の黨策なりとするは愚も亦甚しきものなり況んや一國の政務を執行するに於てをや況んや公器を利用するに於てをや貴下の著作は我國家社會に利すること實に大な

り否貴下が茲に注意せしは時勢を觀破せしものと云ふ可し

堀江議作君

二冊の御著書常に愛讀致居候あの時現代の聖書と申上候へしが實に其然る所以を一層深く味ひ居候畢竟尊臺の高尙なる御理想がキリストの精神に一致せるものあるは常に主の御靈尊臺の衷に働き給ひ榮光の器として暗き世を照さるゝ所以に外ならざる義と深く信じ申候御著書中の愛と久遠の人生及び家庭は溫き溫室の如きは圓滿なる御性格のうち神の愛のあらはれたる所と誠にうれしく拜讀仕候

永井 生君

御高著御送り被下早速通讀いたしましたところなかの玉條まことに敬服いたしました現代の思想まで觸れ偉人の詩歌を以て靈的に教ふるところ有之御多忙中容易ならざる御丹誠と深く感銘候

中島氣峰君

群馬郡長尾村の人後藤九十九君近著あり「現代に面して」といふ文意簡明理義透徹現代に向ふて批評到らざるなし頃日更に増補の計畫を爲してあり地方富豪者にして此事あり尙一段の奮發を望まざるを得ず

大正十一年十月三日印刷
大正十一年十二月一日發行

(定價金壹圓六拾錢)

著作者
兼發行者

後藤 九十九

群馬縣群馬郡長尾村
大字北牧五十一番地

印刷者

棟原 富太郎

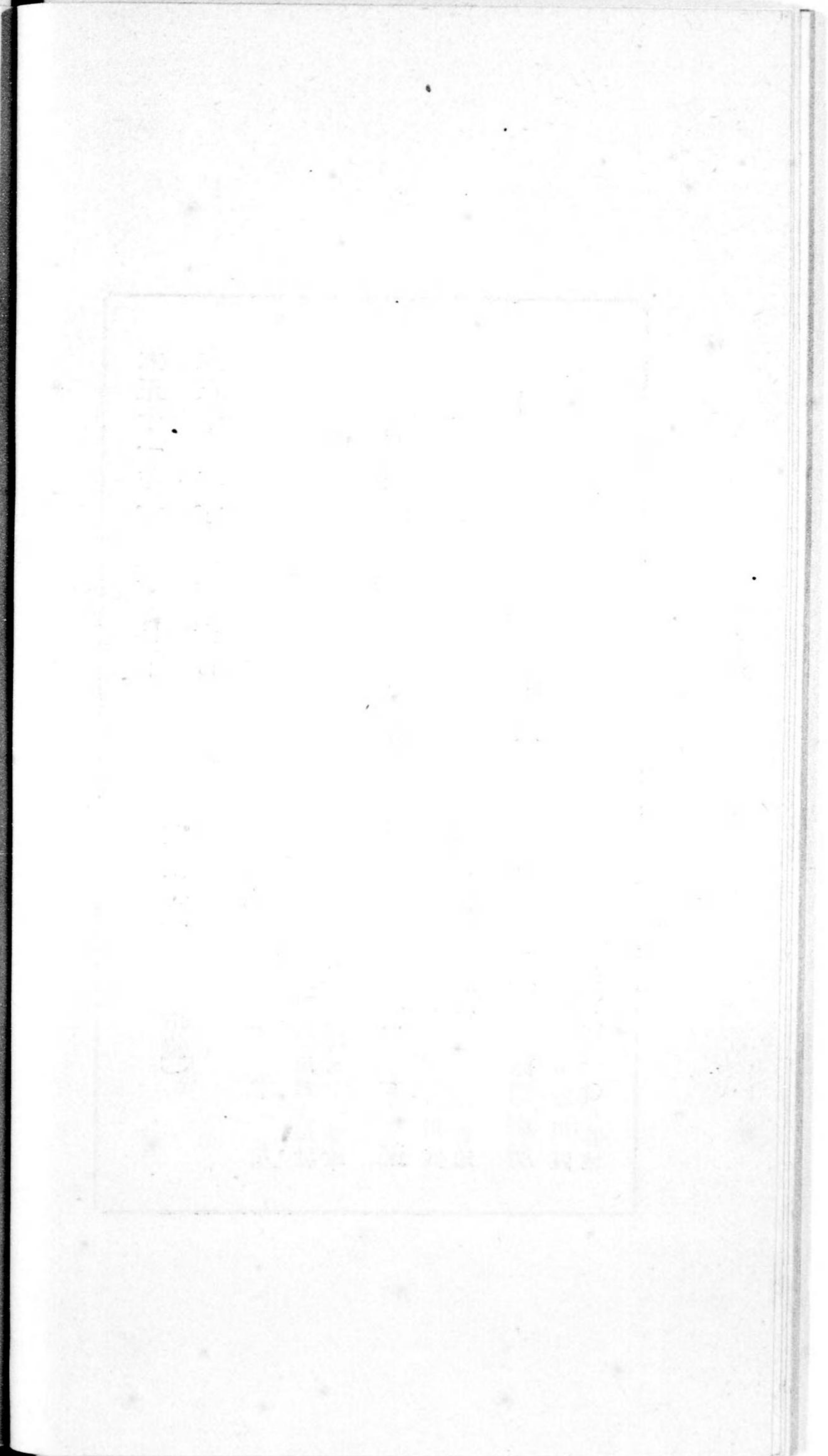
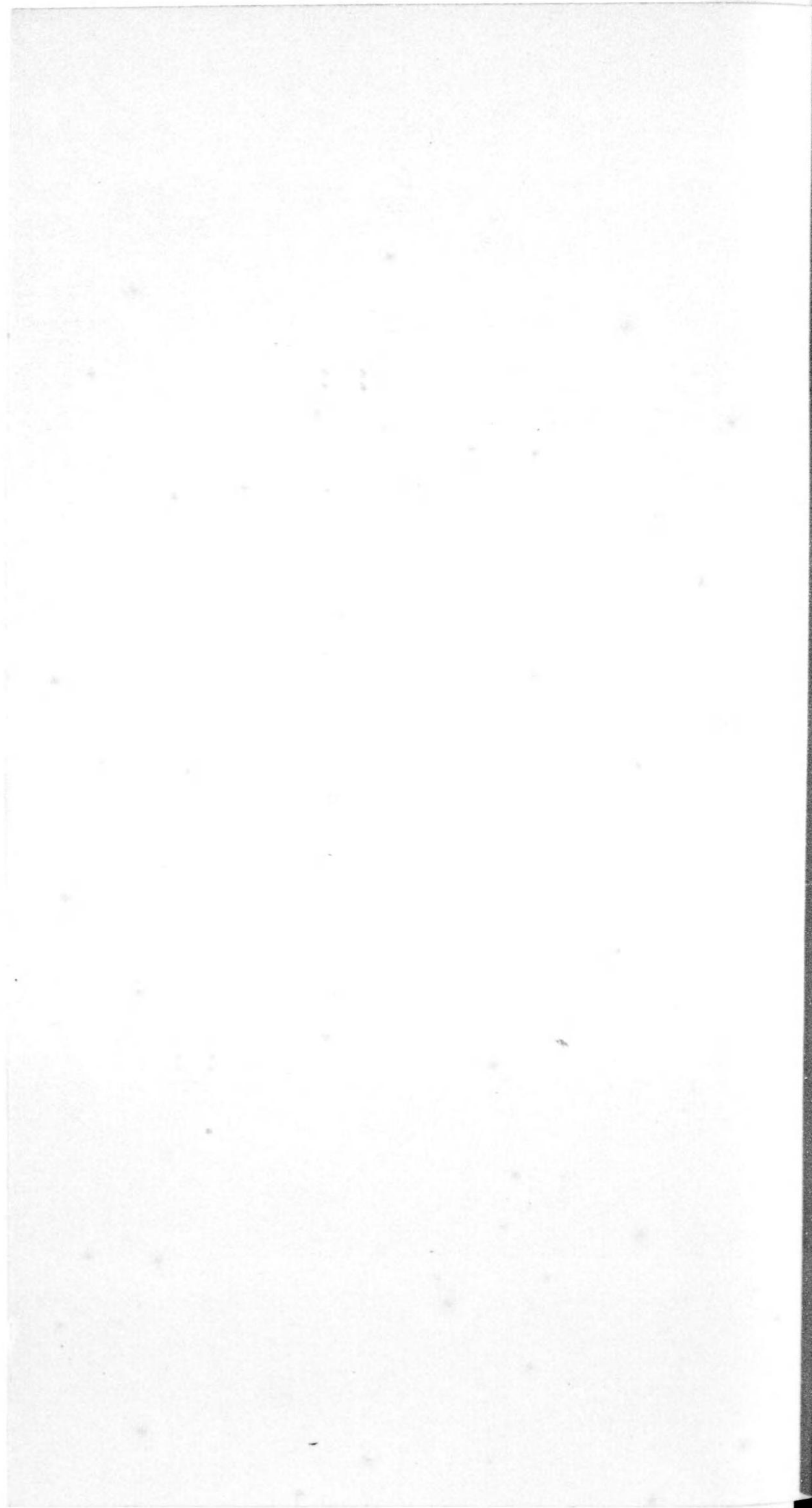
東京市小石川區
久堅町一〇八番地

不許
複製

印刷所

株式會社博文館印刷所

東京市小石川區
久堅町一〇八番地



1877
1879

終